

授業参観・PTA 総会・学級懇談、ご参加ありがとうございます

感染症も今のところ落ち着き、学校も通常活動ができるようになってきました。授業参観や学級懇談へのご参加ありがとうございます。ざっと集計したところ授業参観160名、懇談会116名の参加状況でした。一家庭から複数名の来校もありましたので、来校実数はさらに多かったかと思えます。また何年かぶりの対面での総会へのご参加もありがとうございました。役員の方の改選、活動計画、会計についてなど、滞りなく承認され安堵いたしました。令和4年度西村会長様をはじめ、旧役員の皆様、大変おつかれさまでした。新体制となりました令和5年度城野会長様をはじめ新役員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

PTA 総会では、校長から今年度の学校方針を含めて少しお話をさせていただきました。ご出席できなかった方もおられますので、裏面に内容を掲載いたします。ご一読いただければ幸いです。

流行から不易へ

中部小学校では、朝の時間に「百ます計算」を中心としたスキルタイムを実施しています。2003年に蔭山英男先生が出版した『徹底反復百ます計算』で、全国で知られるようになり、多くの小中学校で授業や自習に取り入れられるようになってきました。今年度は、このスキルタイムに一部タブレットPCを取り入れられました。まだまだ模索状態などところでもあるので、21日のスキルタイムでは、6年生にてタブレットPCを使ったスキルタイム先行させ、全職員参観研修を行いました。

また、25日実施の全国学力・学習状況調査(児童質問紙調査:6年生対象)は、これまで紙調査であったものが、児童個々にタブレットで回答する方式となりました。(R5年度は、整備が整っている自治体でPCでの回答を希望した学校にて実施)

大学入試共通テストも R8年度以降は CBT 方式(Computer-based Testing:PC で解答入力)が検討されていると聞きます。子どもよりも大人(教師)が時代の流れについていくのが課題です。



家庭訪問ありがとうございました

24日からの家庭訪問、ありがとうございました。玄関先訪問ということで、一軒あたり本当に短時間の訪問ではありましたが、危機管理上も子どもたちの自宅の確認ができると大変助かります。職員も、「こんな遠くから来ているのか」「短時間でも保護者と話ができてよかった」という声が聞かれました。職員が、時間通りに訪問できなかったご家庭やご家庭の都合を無理して合わせられたところも少なくなかったと思います。ご協力に感謝するとともに、学校としても、この訪問を今後に生かすようにしてまいります。



校長のひとりごと

千代田中部小への入り口の目の前は道路です。登校時刻頃は、通勤の車が列をなして通っています。道路を横断する必要がある子どもも多くいます。

押しボタン式信号で車を止めて、班長さんを先頭に横断歩道を渡ります。班が渡り終えた後、班長さんら6年生(中には5年以下も)が、道路を振り返り、止まっている車に「ペコリ」とお辞儀をしている姿を目にします。以前から、学校でそういう指導もあっているかもしれませんが、4月の初日からこの光景が見られました。登校班の上級生は、これまでの上級生の姿を見て、その行為を引き継いだのだと思います。

子どもから、こちらが何か教えられたように思えました。

PTA 総会 ~ 校長からの方針説明より ~

千代田中部小学校の子どもたちの印象は、大変元気がよく、挨拶も上手、素直な子どもたちだと思いました。

ただ、私は『すなお』という言葉について、ときどき考えることがあります。私たち大人が『すなおなよい子』というとき、どこか「聞き分けのよい、大人に従順な子ども」「大人にとって都合のよい子ども」のニュアンスを含んでいるようにも思えます。『すなお』という言葉で辞書で調べると「ありのまま、飾り気のないさま」「性格・態度などが、穏やかでひねくれているさま」など書かれています。この「ありのまま」ということを考えれば、反抗的な態度をとる子どももある意味『すなお』と考えられます。

私は、大人に都合のよい、従順な子どもではなく、ものごとを正しく捉え、自分で考え、適切に判断できる子どもであってほしいと願っています。なので、今年度の教育目標に、「自分で考え行動できる子ども」という文言を入れております。子どもと子ども、子どもと教師、対話を通して、物事を実行したり、問題を解決したりしていきたいと考えています。

5月2日、歓迎遠足があります。「もし雨が降ったら、お菓子の持参はどうするか」が職員の話し合いの中で出ました。雨が降れば、当日はお弁当ですから校内でちょっとした遠足気分を味わうことになります。お菓子を持ってこさせると、想定される問題(トラブル)も考えられます。今回これを子どもたちに話し合わせることにしました。

早速6年生で、担任からこのことを投げかけたところ、子どもたちからも「校内にお菓子のゴミが落とされるのではないか」「下校中にこっそりお菓子を食べる人がいるのではないか」など予見される問題の意見が出てきました。その上で結論は、「お菓子は持ってきてよい」になりました。そうならないようにどうすればよいか。「自分たち(6年生)が下級生にきちんと指導する」「自分たち(6年生)が約束を守るようにする」など、子どもたち自身での取り決めができました。

もし当日に「お菓子のゴミが・・・」などの問題が生じて、私はむやみに叱ることはありません。それでも生じてしまった事実をどう受け止めるか、また考えさせる機会になればと思っています。

子どもたちはロボットではありませんから、ある時期、どこかで反抗したり意見が食い違って誰かとけんかをしたりすることもあると思っています。そのとき何が問題になっているのか、どのようにすればよかったのか、どう解決していくのか、考えて、対話して、よりよい判断、行動をとれるようにしていけるようにすることが学校の役割だと考えています。

この先、様々なドラマが展開されていくと思います。ご家庭におかれましても、この方針を汲みおきいただき、一緒に子どもの育成、問題解決をしていただければと強く願います。どうぞご理解とご協力お願いいたします。

この先、何かありましたら遠慮なく、校長までご相談ください。